

## IMAGICA デジタルプロダクション部

### 「データマネジメントグループ」を9月1日付で設立 確実な品質管理を提供、ファイル収録の拡大に対応

(株)IMAGICAは、デジタルシネマカメラの多様化やファイル収録の拡大に対応して、より確実な品質管理を提供することを目的に、デジタルプロダクション部内に9月1日付けで「データマネジメントグループ」を新設した。グループのメンバーは10人。これまでCMや映画といった分野ごとに分散していた人材を集約し、煩雑になりがちなデータ管理をワンストップで行うことで、作品の狙いやカメラ特性によって異なる最適なデータ変換/ルック加工を提供し、スムーズなポストプロダクション作業へ繋げていく。



データマネジメントグループのメンバーとテクニカルディレクター＝互いに連携することで制作全般をフォローアップする



氏名の色と担当  
テクニカルディレクター  
データマネジメントグループ 課長  
データマネジメントグループ リーダー  
データマネジメントグループ メンバー

#### データマネジメント&ルックマネジメント

デジタルプロダクション部 データマネジメントグループ 課長の越智武彦氏は「デジタルシネマカメラによるファイル収録が拡大していますが、使用されるカメラごとに特性の異なったRAWデータ/LOGデータが存在すると同時に、多種多様な出力方式があり、日々変化している現状があります。そのような状況のなか、最適なポストプロダクションフローを提供していくためには、「データマネジメント」が非常に重要になってきます。安全・確実なデータ管理が、クオリティの維持、コスト・スケジュールの圧縮に繋がっていくものと考えています。また、データ管理とともに重要なのが「ルックマネジメント」です。テストの段階からフィニッシュに近いイメージを共有してい

くことで、よりスムーズな制作が行えます。データマネジメントグループでは、その両面を担っていくことで、制作全般をフォローアップしていきたいと考えています」とする。

データマネジメントグループは越智氏のほか、Inferno/Flame などオンラインのコンポジター出身でDIT (Digital Image Technician) 経験も積んでいる山田堅二郎氏、フィルムスキャナー・IMAGERの開発に携わり各種データ変換に精通する天野敬久氏、DI コンフォームの効率化等を手がけてきた細沼直人氏の3人をリーダーとし、7人のスタッフを擁する。



データマネジメントの専用室「Edit-5」の作業風景

### 作品のニーズに応じた最適なフローを提供

データマネジメントグループ 山田堅二郎氏は「カメラの多様化を背景に、扱うデータの種類も膨大になってきています。収録データについて、オフライン/オンライン編集向けにそれぞれのデータ作成を行います。カメラの特性に合致したワークフローを選択していく必要があります。RAW データの種類ごとにルックの相違もあり、フィニッシュをイメージできるオフラインデータの作成もポイントになっています。作品の狙いによってワークフローの選択肢にも幅があり、それぞれにカスタマイズしていくことが必要ですから、ニーズに即した最適なフローを提供していきます。我々の業務は、お客さまに如何に煩雑さを感じさせないか、クリエイティブに集中していただ

けるか、だと思います。とくにスパンの短いCM制作では、データマネジメントを確実に行うことで、オフライン/オンライン/グレーディングという各パートで生じていた“仕込み日”が確実に短縮されていると好評をいただいています」とする。

また、天野敬久氏は「収録からポストプロダクションまでのデータ管理が複雑化している状況で、これまでデータを中心としてフロー全体をコントロールする窓口が特にありませんでした。スタッフそれぞれが持つ得意分野を活かしながら、グループ内でノウハウを共有していくことで、最も効率的なワークフローを提供していきたいと考えています」という。

撮影データの管理・変換等を行うデータマネジメントの専用室を東京映像センターの2階と3階に開設し、拠点内の各編集室とネットワークを構築している。さらに、今秋には東京映像センター～銀座7丁目スタジオ～麻布十番スタジオの拠点間をDarkFiberでネットワーク化する計画で、撮影データ等の送受信など、ファイルベースワークフローのさらなる強化、利便性の向上を図っていくという。



デジタルシネマカメラ「EPIC」とデータインジェストシステム「ONSET DOCK」  
IMAGICAでは撮影システムの提供にとどまらず、作品や狙いに適した撮影プランとワークフローの提案、VE/DITによる撮影現場の技術サポートを行う。「ONSET DOCK」は撮影現場において、撮影された素材のプレビューやバックアップ、品質管理、オフライン用のデータ整理、デジタル現像、簡易的なカラコレや編集・合成などの技術サービスを提供する

## 人材の集中などデジタルプロダクションの強化

IMAGICA ではシステムの増強にとどまらず、適所への人材の配置・集中により、デジタルプロダクションの体制を強化してきた。

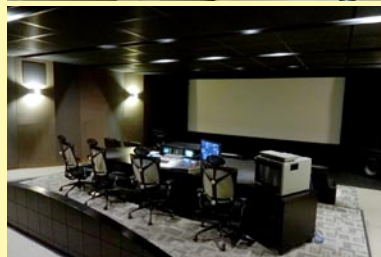
既報のとおり、銀座 7 丁目スタジオにオフライン編集室およびオフラインエディターの集約（7 月 30 日号）、麻布十番スタジオのオンライン編集室強化（8 月 6 日号）、EPIC/F65 の稼働開始と VE/DIT による現場サポート拡充（8 月 13 日号）、テクニカルディレクターおよびテクニカルコーディネーターによるトータルサポートサービス強化（8 月 30 日号）といった展開を実施。デジタル制作と複雑化するワークフローに対して、最も効果的な技術をより迅速に提供していく体制を整えてきた。

デジタルプロダクション部 テクニカルディレクターの松本渉氏は〈作品全体の品質管理を核として、ポストプロ技術全体をフォローアップする“テクニカルディレクター”、ポストプロ制作進行をフォローアップする“テクニカルコーディネーター”に加えて、データ全体を管理する“データマネジメントグループ”が連携することで、よりクオリティの高い制作が可能です。それぞれのスペシャリストが携わっていくことで、各段階において煩雑さも無くなり、クリエイティブに専念できる体制が整いました。ワークフローもますます多様化しています。例えば合成を目的とした撮影では、様々な条件から、バックグラウンドとフォアグラウンドの撮影システムを使い分けるといったケースも数多く出ています。フィルム技術で長年培ってきたノウハウ、カラーマネジメント技術が役立っています〉とする。

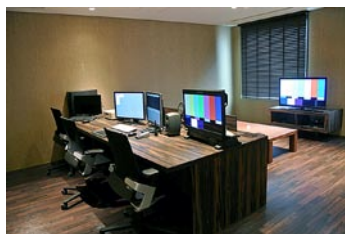
越智氏は〈日々変化していくワークフローに対応して、広くアンテナを張り、ノウハウを構築しながら、一層のサービス拡充を図るとともに、お客様のニーズに的確に応えられる体制を整えていきます〉としている。

◇(株) IMAGICA

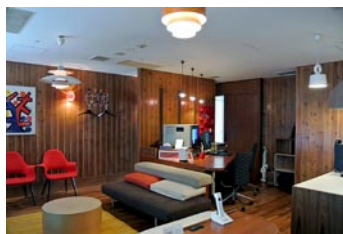
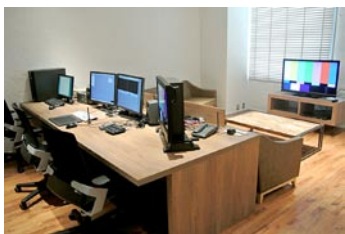
<http://www.imagica.com/>



上から、ノンリニアカラーグレーディングシステム「DaVinci Resolve」「Film Master」「Baselight」「ONSET DOCK」と連携して、イメージの継承とデータを共有し、ポストプロダクション作業の効率化を図れる



銀座 7 丁目スタジオのオフライン編集室「ed\_08」(左)と「ed\_09」



麻布十番スタジオの Flame 編集室「606」